

三びきの子ぶた

三びきの子ぶた

(イギリスの昔話)

三びきの子ぶたが、大きくなってお母さんの家を出ることになり、それぞれ自分の家を建てたにしました。

一番上の兄さんは、わらで家を作りました。二番目の兄さんは、木の枝でえだ家を作りました。一番下の弟は、時間をかけて、れんがで家を作りました。

そこへ、おおかみがやってきました。おおかみが息をふきかける
と、わらの家も、木の枝の家も、あつという間にふき飛ばされてし
まいました。

二ひきは、弟のれんがの家ににげこみました。おかみは、いくらふいても、れんがの家をこわすことはできませんでした。

三びきは、それからいつしよに、れんがの家でなかよくくらしま
した。

1 一番上の兄さんは、何で家を作りましたか。

ア
わ
ら

イ
木の枝えだ

うれんが

2 一番下の弟は、何で家を作りましたか。

3
れんがの家が、ふき飛ばとされなかったのは、どうしてでしょう。

4 家がふき飛ばされた順に、□に1・2を書きましよう。

木の枝の家

わらの家